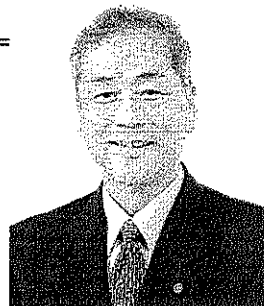


こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2017年12月17日号

違法民泊解決の御礼

本年5月に、市内の違法民泊についての陳情書を市議会に提出させて頂きました…。

10月25日に市より「営業終了」との連絡を頂き…。

山根議員には本当にお世話になりました。また井上議員には現地を何度も訪ねて下さり、審査の際には多くの貴重な発言をして頂き心より感謝をしております。本当に有り難うございました。

伏見区の町内会長さんから、井上議員宛、お礼の手紙が届きました。今春、この町内から、市議会宛、「違法民泊の営業停止」を求める陳情書が出され、井上議員も、同僚の、地元山根議員とともに、現地調査や町内会長激励、登記簿調査等を踏まえ、陳情の要望に沿って議会で質問し

市民の方からお礼の手紙が届く

民泊撤退が実現

ていました。秋になって、この民泊が撤退。何よりも地元住民の皆さんの頑張りの成果ですが、ささやかながら党議員団としてもお手伝いをする事ができました

「義務教育学校」とは

南区の凌風学園など市内七つの「小中一貫校」を、法律上の「義務教育学校」にするとの議案について、8日の市議会本会議で、共



ホームヘルパーのつどい(12/10、ラポール)

前進座初春公演

(於)先斗町歌舞練場

1月21日(日)

午後3時半開演

観劇券は、1等7,000円

2等4,000円

その他詳細は井上議員まで

産党市議団は反対しました。六・三制を崩し、「小中一貫」を更に進め、小中学校を一緒にしたような学校のことです。国は、統廃合による教育費の削減や、学校の選別化を狙っています。井上議員の質問に、市教委は「経費削減は結果。選別化はしない」との答弁でした。

介護保険計画に意見を

前号既報の通り、介護保険次期事業計画への市民意見募集中です。議員なので井上市議は応募しません。市民の方から参考意見を求められたので、下記に紹介しません。「保険料を上げないで」等、意見を上げません。

市「次期介護保険事業計画」への、井上けんじ議員の応募参考意見

第七期計画の立案にあたり、制度そのもの、及び最近の国の動向についての、自治体としての批判的総括が必要ではないか。すでに、要支援1・2の訪問介護と通所介護を、総合事業と称して保険給付からはずす、特別養護老人ホームへの入所資格を要介護3以上に限定する、所得により利用料を2割或いは今後3割にも値上げする、更に資産要件による捕足給付を見直す等々、国においては、一貫して介護保障を後退させる方向での制度変更が繰り返され、また市も基本的に、これに追随してきた。

加えて、国においては、総合事業＝保険外しを要介護にも広げることや、特に生活援助を大幅に制限する方向など、介護現場の実態を無視または軽視し、介護保障をますます後退させる方向での制度見直し作業が続けられている。制度の不可欠な担い手である事業者・労働者へのしわ寄せをやめ、運営条件・労働条件の抜本的改善が緊急に求められている。保険料・利用料の、これ以上の値上げは、高齢者の生活実態から言って、最早限界である。特に保険給付外しは、保険料納付→保険事故遭遇→保険給付受給という保険制度の根幹を否定するものであり、絶対に認められない。

国及び市においては、高齢者とその家族、事業所と労働者への、これ以上の負担増としわ寄せを避け、必要で十分な介護を保障すること、そのために、給付と保険料のリンクの仕組みを改めて、国・自治体の負担割合を増やすこと、介護報酬を現場の実態に見合ったものに設定すること等々、抜本的な改善が必要である。特に市においては、国に追随する姿勢を改め、自治体としての自主性を発揮すべきことを強く求める。